

センター便り

2025年 10月号

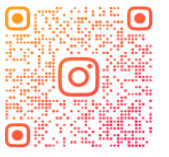
静岡県伊豆の国市寺家202

Tel 055(949)1165

伊豆医療福祉センター 発行：広報委員会

Instagramも

ご覧ください♪ →→



©IZUIRYOU.FUKUSI.CENTER

巻頭言

無関心と過干渉

施設長 渡邊誠司

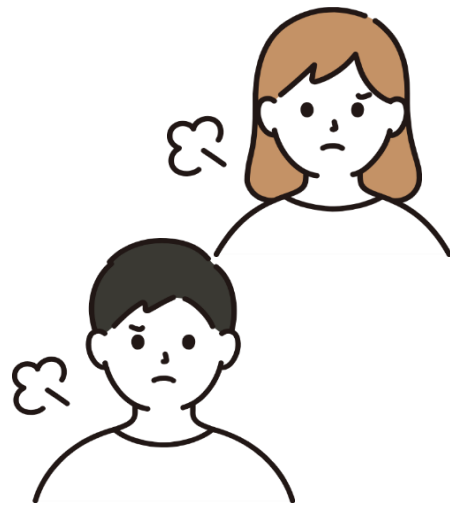
ヒトは誰でも自分がかわいい。利己的な生き物である。それでもいい。誰かの役に立ってれば、いい。〜せいじ〜



発達の外来に紹介されて来る子の中には、小学生くらいの兄弟・姉妹で、一人一人は『繊細さん HSP』（当然、感覚のいろいろな問題はあります。）とまりで適応をできていると思うのですが、自閉スペクトラム症の診断がついている子たちがいいます。『家でかんなしく、暴言、暴力がひどい』『血みどろのきょうだいげんか』が共通の主訴です。学校ではほとんど問題ないのに（だんだん出てくる子もいますが）。

私見ですが、これらは発達性トラウマの一つではないかと考えています。原因は『無関心』と『過干渉』。

世は物価高、賃金の上昇は追いつかない。便利な生活の維持のため稼がなくてはならず、こどもの世話は二の次になる。これが、第一の『無関心』。こどもが増える一人一人の相手をするのが大変になる。繊細で打たれ弱い、幼いこどもの言っていることに対応するのは大変。『なんで、私だけ：ちよつと休ませて、ほつといてよ。私にもやりたいことがあるの！』と第二、第三の無関心が生まれます。



しかし、子育てには次があります。『いい親でありたい』『子育てが上手だと言われたい』という自己肯定感（自己効用感+自己有用感）の欲求です。そのために、『機会を与えなければ！』とスイミング、塾、スポーツなどいろいろなものを持ってくる。

そして、こどもができるようになるよう、先回りして口や手をついて出してしまうようになります。これを『過干渉』と言います。



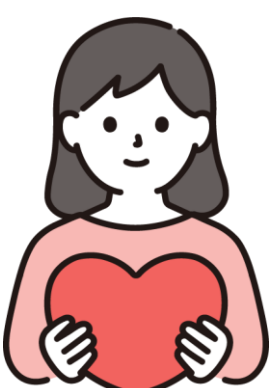
こどもはその『機会』に疲れてしまうこともあるでしょう。それでも日々の新鮮な出来事、与えられた機会の報告をしようとしても、『無関心』に『生活の疲弊』が重なった親御さんも対応はしきれない。なんとか聞いてもらおうと『みてみて』『きいてきて』『と食い下がりますが、伝わらないと、その二次感情からかんなしくを起こし、大声を出し、叩くこともある。さらにきょうだいがいると、『私だけを』という気持ちから過剰な『血みどろのけんか』になるのは自明の理でしょう。

落ち着きましょう。

こども一人一人にお母さんだけ、お父さんだけの『あんなだけのため』『あんなが好き』という時間をとってください（自己有用感アップ）。どんな優秀な人でも、その人がいなければ動かない仕事はありません。休んでも、世の中それなりに回るものです。思い切って休みましょう。失った経済は、温かい心で返ってきます。どちらも大きな生きるエネルギーです。

不思議な『自閉スペクトラム症』の診断のこどもたちを診て、自分の子育てを振り返って最近こんなことを思います。私たちの仕事・ことが少しでもお役に立てば幸いです。

（註）私は、ヒトはみんな自閉スペクトラム症の線上にあると思っています。この線が強いとか昔で言う『自閉症』しか診断できないお医者さんが、繊細なだけに、『自閉症』としてくる不思議な子たちがいるので取り上げてみました。



夏のおもいで

今年も開催！夏祭り

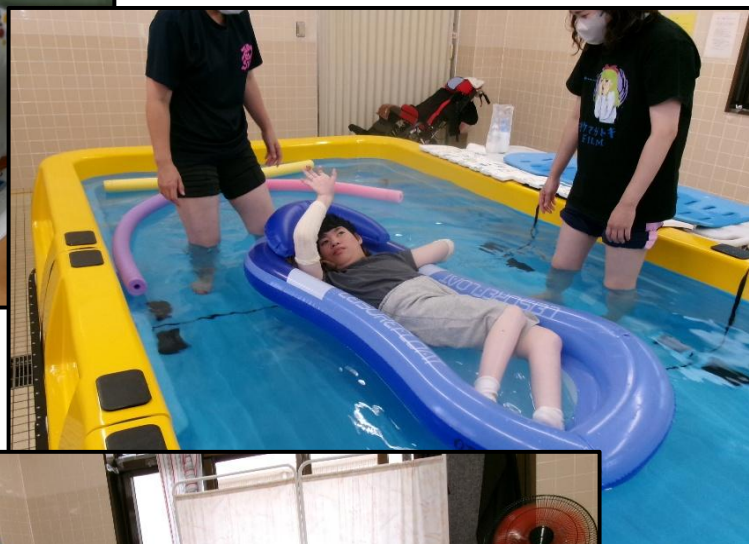
8月9日に夏祭りが開催されました。ご家族も参加され、笑顔あふれるひとときとなりました。

どんつくさんによる和太鼓演奏、車椅子ダンスで会場は大盛り上がり。皆さん笑顔で楽しんでいました。ご家族と一緒に作ったうちわは、写真やシールを貼り、オリジナル作品が完成しました。昼食はお祭りメニューとして、たこ焼きと焼きそばを提供。屋台焼きそばの香ばしい匂いが部屋中に広がり、食欲をそそりました。さらに、サーティワンアイスも味わい、楽しい夏の思い出が出来ました。（看護師 飯田志乃）



夏の風物詩 かき氷

8月6日に給食イベントでかき氷を実施しました。氷に一工夫。みんなが安全に食べられるように、水に増粘剤でとろみをつけてから凍らせました。そうすることで、少し溶けにくくなり、口に入れてからトロっとした食感で食べる事ができます。ちょっと冷たい氷にびっくりする方もいましたが少し夏を感じる事ができました。ただ、氷の感触を感じてほしくて遊ばせたら、増粘剤で手がベトベトに。そこは来年に向けて反省点としてあげました。（管理栄養士 鈴木淳子）



暑さ吹き飛ばすプール！

生活介護事業所「こすもす」／児童発達支援事業「ポレポレ」

1年ぶりのプールに胸を膨らませ、今年度も利用者の皆さんが楽しみにしているプール活動を行ないました。

こすもす、ポレポレ共に、水の感触や冷たさを感じ、気持ちよさそうな表情をたくさん見ることができました。

皆さんの楽しそうな表情に癒され、暑さの吹き飛ばす夏でした！



いずふあーむ

OTグループ活動紹介



昨年に引き続き今年もOTグループ活動(いずふあーむ)を行っています。
今年は、トマト、なす、きゅうりを育てました。去年よりたくさんの野菜が収穫でき、みんなで料理をして職員に
振る舞いました。次はじゃがいもに挑戦します！

菜園以外にも季節に合わせた活動で夏にはお化け屋敷やプールを行いました。

秋にはボッチャ大会を開催予定です。

(リハビリテーション科 阿部唯織)



梅雨を感じよう



クッキング



収穫！

第12回 伊豆医療福祉センターまつり 開催のお知らせ



～地域の中にあるセンター — 60年の歩み —

伊豆医療福祉センターは、昭和39年の開設以来、地域の皆さまに支えられながら60年の歩みを重ねてまいりました。
今年も皆様に感謝の気持ちを込めて「伊豆医療福祉センターまつり」を開催いたします。

お祭りは、子どもから大人まで楽しめる内容をたくさんご用意しております。ステージ発表では、「ゆずりんず」に
よる元気いっぱいのダンス、迫力ある「どんつく」「やわら太鼓」、華やかな「フラダンス」、そして皆さん参加型の
「車いすダンス」など、多彩なプログラムを予定しています。

会場内では、参加型の催し物も盛りだくさんです。お子さまに人気の「お菓子釣り」や「衣装を着ての写真撮影コー
ナー」、どなたでも体験できる「車いす試乗体験」など、遊びながら福祉や医療について学べる機会となっています。

さらに屋外では、キッチンカーによる美味しいグルメの販売や、福祉事業所による物販・展示もあり、味わいながら
地域の活動に触れていただけます。

日時：11月1日（土）10：30～14：00

場所：伊豆医療福祉センター・伊豆の国特別支援学校 体育館

これからも「地域の中にあるセンター」として、皆さまと共に歩み続けていきたいと
願っています。

ご家族・ご友人お誘いあわせのうえ、ぜひお気軽にご来場ください。

(実行委員長 リハビリテーション科 守野剛史)

☺ 詳細はチラシをご覧ください ☺

